

平成27年4月 定例委員会々議録

- 1 日 時 平成27年4月28日(火) 午後1時30分～
- 2 開催場所 会議室 301
- 3 出席委員の氏名
委員長 齋藤和夫 委員長職務代理者 黒川優子
委員 山崎克弥 委員 中野信男
委員 秦久美子 教育長 上原洋一
- 4 欠席委員の氏名 なし
- 5 説明のため出席した職員
教育次長 金子彰男 主幹 長谷川 智
学校教育課長 山田公一 子育て支援課長 宮路豊行
社会教育課長 堀 克彦
- 6 本委員会書記
学校教育課 加藤 篤聡 他2名
- 7 傍聴人
2名
- 8 会議に付議した事件
諸報告
(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄付報告
(4) 共催・後援の教育長専決報告

協議題

新規後援申請について

議案

- 議案第43号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について
議案第44号 平成27年度燕市立幼稚園、こども園、小学校及び中学校に

おける学校評議員の委嘱について
議案第 45 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

その他

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 黒川 優子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

1 拡大校長会について（4月10日）

●平成27年度の園、学校・学校規模

○保育園は公立18園に1,683（1,726）人。私立保育園4園349（622）人を加え22園2,032（2,348）人。

○こども園公立1園114（99）人。私立2園434人を加え3園548人

○幼稚園3園95（107）人。（私立1園123人）以上園全体では2,675（2,677）人。

○小学校15校、特別支援学級含む学級数は190（186）学級（昨年より+4学級）児童数は4,156（4,239）人（前年-83人）

○中学校5校75（75）学級（昨年と同じ）生徒数は2,083（2,150）人（前年-67人）

○燕市内幼稚園・保育園・こども園、小学校・中学校、28園・20校すべての園児・児童・生徒合計8,914（9,066）人でスタート。

●福島の子どもたち

○市内小学校に入学した1年生は6（1）人。在籍する小学生は18（14）人（燕東小5人、燕北小9人、吉田小1人、吉田南小2人、分水小1人）、中学校に入学した1年生は1人。在籍する中学生は5（5）人（燕中2人、吉田中2人、分水中1人）

○幼稚園、保育園には3（4）人が通園する（燕北幼稚園1人、きららおひさま2人）

●平成27年事業概要

○（学校教育課）羽ばたけつばくろ応援、Jack&Betty プロジェクト拡充（英語検定受験料助成）、中学校学力向上対策プロジェクト拡充（研修会増）、燕キャプテンミーティング拡充、学校・地域連携促進、Wi-Fi ステーション整備（防災課）、燕西小屋内運動場天井耐震改修、燕中剣道場天井耐震改修、小池中特別教室棟改築、吉田小改築、東部学校給食センター建設

○（子育て支援課）子育て総合支援センター「すくすく」開設、燕西こども

園整備、燕西児童クラブ整備

○(社会教育課)中央公民館改修、JCY レディースサッカーフェスティバル、東京五輪キャンプ地誘致、子どもの体力向上サポート拡充、粟生津体育センター耐震改修、分水武道館耐震改修(設計業務委託)、可搬式投光器照明設備

(保育幼児教育)

・健康福祉部社会福祉課に新設した「家庭相談チーム」で園や保護者からの子育て相談、悩み相談に対応。

・子育て総合支援センター「すくすく」も開設。

(学校教育)

・燕長善タイムは転入者に確実に伝達、実施を。

・今月21日は全国学テ、NRT実施。全国学テは理科も実施。各学校の学習指導の成果が試させる一つの機会。結果について学校ごとにその要因を分析する必要がある。市教委では、昨年同様中学数学Aは4月中に採点し傾向を把握するほか、市全体の正答率等を把握し要因分析するため、小中学校とも答案コピーを抽出で提出願う。

2 全県教育長会議4月17日(金)自治会館

○高井盛雄教育長から、本年度の重点方針のうち7点について説明があった。

○1点目が、「学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進について」。中学生の家庭学習習慣の確立が課題。また、思考力、判断力、表現力の育成には依然として課題が見られる。WEB配信集計システムの発展問題を拡充する取組を進める。教諭4名を「学力向上専門監」として重点地区に配置する。

○2点目が、「いじめ防止対策の推進について」。スマートフォン等の使用ルールづくりなど、情報モラル向上に重点的に取り組む。

○3点目が、「自殺予防教育等の推進について」。「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組、「私たちの道徳」をはじめとした資料による命の大切さを取り上げた授業の実施。

○4点目が、「郷土愛を軸としたキャリア教育の推進について」。職場体験活動の実施日数の延伸や、地域の事業所や行事等での体験活動を通じさまざまな職業を体験する事業を平成27年度は16市町村で実施。(平成26年度は4市町村)。

○5点目が、「中長期的な高校等再編整備計画の策定について」。平成27年度中には新しい計画を公表する予定。

○6点目が、「公立高校の入学選抜について」。今後各中学校からも意見を聞きながら結果等の分析を進めていく。

○7点目が、「教育の機会均等の確保について」。市町村が行う「放課後子ども教室」「土曜学習」などへの支援を拡充していく。

- 引き続き、各課長より施策概要の説明があった。主だったものを紹介する。
- 総務課より。「学ぼう 新潟の知恵」講師派遣支援事業を実施し、企業 OB 等による講師人材バンク設置。
- 財務課より。平成 27 年 4 月 1 日現在、本県公立小中学校の耐震化率 96.1%。(18 市町村で終了)
- 義務教育課より。学力実態から、本県の課題である思考力・判断力・表現力等の育成や中学生の家庭学習習慣の確立に取り組む。
- 豊かな心を育む道德教育の充実に、家庭や地域と連携して推進する。
- 通常の学級における特別な教育的支援充実モデル事業として 7 校に常勤講師を配置。
- 自殺予防に向け、さらに踏み込んだ情報・事例提供に努めていく。
- 高校教育課より。「進学ランクアップ事業」の後継事業として、「未来を拓く学び推進事業」実施。国際文化・社会科学系をテーマとする。「知の創造セミナー」を新潟県立大と連携して実施。
- 生涯学習推進課より。土曜学習モデル事業を拡充し、6 市町村で実施予定。
- 文化行政課より、近代和風建築総合調査を今年度から 2 カ年計画で実施。

(3) 寄附報告

- 3 件の寄附報告について
《山田学校教育課長が報告》

(4) 共催・後援の教育長専決報告

- 8 件の共催・後援の教育長専決報告について
《山田学校教育課長が報告》

4. 協議題

(1) 新規後援申請

- 3 件の新規後援申請について
《山田学校教育課長、堀社会教育課長が説明》

5. 議案

- 議案第 43 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について
《山田学校教育課長が説明》

審議の結果、全員一致で承認された。

- 議案第 44 号 平成 27 年度燕市立幼稚園、こども園、小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について

《山田学校教育課長が説明》

○委員（中野 信男）

任期について伺いたい。

○学校教育課長（山田 公一）

委嘱の日より1年間である。

審議の結果、全員一致で承認された。

議案第45号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

《堀社会教育課長が説明》

○委員（山崎 克弥）

委員の選定方法を教えてほしい。

○社会教育課長（堀 克彦）

慣例として、分水中と松長小の校長が委員をすることとなっている。

その他、図書館のボランティアの方や児童館長など図書を扱う団体のみなさんから委員として入ってもらっている。今回については入れ替わりの方のみの委嘱になるが、平成27年度の当初にまた新たな人と委嘱して入替をさせて頂いた。

○委員（中野 信男）

委員は全員で何人か。

○社会教育課長（堀 克彦）

12～13人程度であったかと思う。

審議の結果、全員一致で承認された。

6. その他

5. 閉 会 午後2時05分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
